

並 延享二年九月十四日岩田淺右衛門に定番御歩小頭並を命ぜられ、寛延二年小頭に轉じた。この前後小頭並に任せられたものは、一人も見當らぬ。

**ジヨウバンカチナミ 定番歩並 定番御歩**  
並の起原は不明であるが、寶曆七年七月四日前田平助がこの並に召出され、切米四十俵を賜はり、公子前田利實の配膳役を命ぜられたことがある。その後天明五年十月伊藤宇右衛門・廣岡右平次・坪内九兵衛が之に任せられたが、享保元年に定番御歩に進んだ。

**ジヨウビケシ 定火消 藩士中大隊の人持**  
に命じ消防の事に當らしめるを定火消というた。その邸宅屋上に高櫓を設け、日夜人を置いて監視せしめ、若し市内に失火あれば板を撃つて報じ、主人は家臣僕隸數十百人を率ゐて馳せ至る。火消役の標號として纏を用ひ、現場に在つては之を馬前に樹て、進退動止を示した。寛文元年正月十日八人に命ぜられたのがこの役の初で、一番成瀬内藏助當風・玉井市正・生駒内膳直方・淺香左京之長、二番葛巻藏人・横山式部氏從・堀與左衛門定成・中村惣右衛門興政であつた。淺香・中村は御馬廻頭で當役を勤めたのである。之より先萬治年間前田平太夫・仙石勝左衛門・坂井與右衛門・寺西若狹・西尾隼人等の勤めたこともあるが、是等は火消役と風廻とを兼ねたといふ。貞享の頃に至つては十人で、五人宛半月交代二番に勤め、身分は概ね二千石以上のものであつた。因にいふ。江戸へ人持火消を遣はされたことは、榮辱雜記に『延寶八年加藤圖書・伊藤兵助右兩人江戸火消役被仰付。但今年始而人持火消被置。』とあるが、その廢せら

れた年月を明らかにせぬ。

**ジヨウフ 定府 藩士にして江戸邸内に常住し、封國に歸ることのない者をいふ。**

**シヨウブウチ 菖蒲打 藩政の時、端午の日の遊戯に菖蒲打があつた。菖蒲を束ねて短く切り、細き麻繩で緊縛し、之で大地を打つのであるが、士家の二三男又は若黨等は、婦人の髻を打つて快をとり、特に石を菖蒲中に包んで重量を増すものさへあつた。爲にこの日は商家の婦女等の武士町を通るものが少かつた。**

**シヨウブガヤチゴエ 菖蒲ヶ谷内越 鹿島郡大津から、羽咋郡徳田・代田・梨谷小山を経て、堀松に出づる道路をいふ。大津から堀松まで八軒。**

**シヨウフクジ 正福寺 金澤三構に在つて、眞宗東派に屬する。天正十四年乗善これを富山に建立し、二代覺乘は前田利長に隨うて高岡に移つた。覺乘花を好み、之を利長に獻じた爲、花園の地三百八十歩を賜はつたことがある。三代覺祐の時金澤公儀町に移つたが、寛永八年四代の時その地公用となつて今の所に轉じた。**

**シヨウフクジ 正福寺 羽咋郡羽咋に在つて、眞宗東派に屬する。**

**シヨウフクジ 正福寺 鹿島郡千野に在つて、眞宗東派に屬する。**

**シヨウフクジ 正福寺 鳳至郡曹洞宗總持寺山内に在つて、慶長十一年朝岸の建立する所。山内の曹藏院に隸屬してゐたが今は無い。**  
**シヨウフクジ 正福寺 珠洲郡大坊に在つて、眞宗東派に屬する。**

**シヨウフクジ 聖福寺 河北郡鳥越に在つて、眞宗東派に屬する。もと道場であつたが、明治十三年四月寺號公稱の許可を得た。**

**シヨウフクジ 照福寺 鳳至郡石休場に在つて、眞宗東派に屬する。**

**シヨウフクジ 淨福寺 石川郡粟田新保に在つて、眞宗東派に屬する。文久二年三月本山から寺號を得た。**

**シヨウフクジ 淨福寺 河北郡余地に在つて、眞宗東派に屬する。明治二年八月寺號公稱の許可を得た。**

**シヨウフクジ 淨福寺 鳳至郡大箱に在つて、眞宗東派に屬する。**

**シヨウフクジ 淨福寺 珠洲郡引砂に在つて、眞宗東派に屬する。**

**シヨウフクジ 淨福寺 能美郡土室に在つて、眞宗東派に屬する。もと道場であつたが、明治十三年八月寺號の公稱を許された。**

**シヨウフクジ 常福寺 金澤小將町に在つて、眞宗東派に屬する。慶長十二年能登七尾の常福寺祐念は、金澤東末寺の看坊たるべき命を受け、七尾には弟圓昭をして後住たらしめ、自ら陀羅尼鍛冶町に寺地を受けた。次いで寛永廿一年火災によりて袋町に移り、萬治二年小立野に轉じ、寛文三年又木新保荒町に移り、大正五年今の地に移つた。**

**シヨウフクジ 常福寺 金澤高道町に在つて、久榮山と號し、日蓮宗に屬する。正保四年妙成寺十五代日條の創建に係り、初め卯辰に居たが、明治元年三月五日出火焼亡し、後長久寺の客殿を購うて堂宇に宛てた。**

**シヨウフクジ 常福寺 鹿島郡府中に在つて、眞宗東派に屬する。**

**ジヨウフクジアゲチマチ 常福寺上地町 金澤の舊町名。元祿九年本町肝煎敷許附に、上今町の次に常福寺上地町と記し、享和三年幕府に進達した金澤町名書に、桶町の下註に常福寺上地町と載せてある。桶町の續きで袋町の尻地であつたが、今はその名が絶えた。國事昌披問答に上今町之内常福寺上地町とするものは誤である。**

**ジヨウフクジマヘ 常福寺前 金澤の舊町名。常福寺の前通であつたからの名稱であるが、明治四年四月戸籍編成の時木新保五番丁とした。**

**ジヨウフクジモンゼン 成福寺門前 金澤の舊町名。成福寺は富山派山伏で、藤棚白山社の別當であつた。その前通を藤棚成福寺門前といふたが、明治四年四月戸籍編成の際から、單に藤棚と稱することにした。**

**シヨウブダニ 正部谷 河北郡井上庄に屬する部落。**

**シヨウブダニ 正部谷 鹿島郡金丸の内の小字。**

**シヨウブツ 正佛 鳳至郡浦上の内の小字。**

**シヨウブツジ 稱佛寺 能美郡寺井にあつて、眞宗東派に屬する。山號は寺井山。**

**シヨウブツジ 稱佛寺 石川郡福留に在つて、眞宗東派に屬する。**

**シヨウホイン 正甫院 富山藩主第二代前田正甫の法號。詳しくは正甫院天心日管大居士。**

**シヨウホウイン 正法院 陸涼軒日録延徳四年五月廿五日の條に、『能州正法院可來之由桂公告之。』とある。正法院は今存せぬ。**  
**ジヨウホウジ 淨法寺 羽咋郡田中に在つ**